

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 調査結果に関する

教育長コメント（12月22日）

- 令和5年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、本道の児童生徒の体力合計点は、小・中学校の男女いずれも全国平均には届いていないものの、その差が縮んでいます。昨年度との比較においても、小・中学校の男女いずれも上昇しており、改善の傾向が見られます。
  
- このことは、各市町村教育委員会及び学校において、学校全体での検証改善サイクルの確立や、ICTを効果的に活用した授業改善、家庭・地域と連携した望ましい運動習慣・生活習慣の確立に向けた取組を着実に進めてきたことが反映されたものと受け止めております。
  
- 今後は、本調査結果を詳細に分析するとともに、これまでの取組の更なる改善・充実を図り、本道の子どもたちが、運動やスポーツを通じて体力・運動能力を高め、生涯にわたって幸福で豊かな生活を実現するための基礎を培うことができるよう、学校、家庭、地域、行政が一体となって取組を一層推進してまいります。

教育関係者や保護者の方々はもとより、広く道民の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。